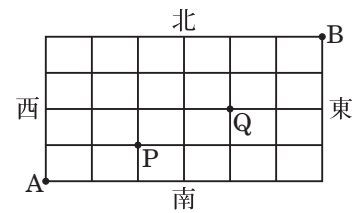


場合の数と確率②

21

右の図のように、東西に5本、南北に7本の道路がある。今、A地点からB地点へ行く最短経路を考える。

- (1) すべての行き方は **アイウ** 通りある。そのうち、P 地点と Q 地点をとともに通る経路は **エオ** 通りあり、P 地点または Q 地点を通る経路は **カキク** 通りある。
- (2) P 地点を通らない経路は **ケコサ** 通りあり、P 地点を通らず Q 地点を通る経路は **シス** 通りある。



22

箱の中に、0の数字が書かれたカードが3枚、1の数字が書かれたカードが6枚入っている。

- [1] 箱の中からカードを1枚取り出し、カードに書かれている数字を確認してもとに戻すという操作を3回繰り返す。取り出されたカードに書かれてあった3つの数の和を p とするとき

$p=1$ となる確率は $\frac{\text{ア}}{\text{イ}}$, $p=2$ となる確率は $\frac{\text{ウ}}{\text{エ}}$

である。

- 〔2〕 この箱の中に、2 の数字が書かれたカードを 3 枚追加する。このとき、箱の中からカードを同時に 3 枚取り出し、3 枚のカードに書かれている数の積を q とする。

(1) $q=2$ となる確率は $\frac{\text{オ}}{\text{カキ}}$, $q=4$ となる確率は $\frac{\text{ク}}{\text{ケコサ}}$ である。

(2) $q=0$ となる確率は $\frac{\boxed{\text{シス}}}{\boxed{\text{セン}}}$ である。

[illegible][illegible]